

いこいの村 録 部 藤 枝

題字 梅の木寮

2016年(平成28年)4月20日発行

第407号

発行責任者

いこいの村聴覚言語障害センター

所長 岩本 幸子

いこいの村編集委員会

〒629-1242

綾部市十倉名畠町久瀬谷2番地

TEL (0773) 46-0101

FAX (0773) 46-0610

<http://www.kyoto-chogen.or.jp/ikoi>

お相撲さんに会いに行きました!

園児や家族、地域の方など大勢の人たちが
迫力の取り組みを見守ります



3月2日 綾東幼稚園に
春日野部屋の力士が来園

4/1から「綾東じどり園」になりました



梅の木寮からも出かけました



隣接するとくらの家、利用者のみなさん

普段から「今日は相撲ある
んか?」とテレビの相撲中継
を気にしてる方もあり、何ヶ
月も前から楽しみにされてい
たイベントでした。

当日は冷え込みましたが、
力士の方がまわし姿で練習を
始められると、その様子に寒
さも吹っ飛ぶようでした。す
ぐ田の前まで力士の方が来ら
れると「大きなお尻」とい
う感心したり、力士同士のぶ
つかり合いで声を掛けるなど、
幼児園の子どもたちや地元の
人たちと一緒にやかなひと時
を過ごされました。

「横綱になつたうむつと大
きいんやな」「あの人らもこれ
に出てんか」。力士がいつもよ
り身近に感じるようで、相撲
中継で話が盛り上ります。
また次の機会も一緒に見に行
きたいですね。

(梅の木寮 新庄 香菜)

梅の木寮お楽しみ会

3月23日、梅の木寮のお楽しみ会を開催しました。

生活者、職員みんなで集い、27年度を振り返りながら、次年度につながる楽しい会にして計画しました。

会場には、1年間の思い出の写真を掲示し、写真を見ながら記念花が咲きました。



よもぎ風呂
湯船につかれば 楽しそよ



これあなた? いつの?

お楽しみ会には、長期・短期入所の生活者、職員、総勢90名が集まりました。各棟の生活者の代表と職員が前に出て、スライドを見ながら、思い出を語りました。中には、

即興で俳句を詠まれる方もありました。その後は、みんなで梅の木寮オリジナルの健康長寿体操や、ゲームをしました。

紅白『色』合わせゲーム

「勝ち残った方」は景品があります! 前に立つ職員の声が響きます。司会の仁國で

紅白といひか挙げ、自分が挙げたカードの『色』が、司会のカーデといひ残れました。「セーのっ」と司会がカーデを挙げると「カーっ」と紅

白入り乱れて、手に持つ色カードが挙がります。何度も繰り返すと、90名の中で徐々に勝ち残りがしきりていきました。順調に進み、最後まで色を並べ続けられた方には景品の入浴剤を贈呈し、ゲームが終りました。皆さんで熱中した楽しいひと時を過ごしました。



紅白、色合わせゲームで盛り上りました!

介護のワンポイント

入浴時の脱水注意

お風呂で体を温めないと健康にとてもよくなります。体をきれいにして気持ちがリラックスでき、爽快になり血の流れもよくなります。

ところが、お風呂の中でもトウトしてしまつて、のぼせたり、意識を失いかける恐れがあります。これは、湯船に

水分が不足した状態となり、血圧が下がって、血の流れが悪くなり、脳に十分な血液が送られなくなるからです。また、入浴中は何となく体をきれいにして気持ちがリラックスでき、爽快になり血の流れもよくなります。

入浴時の脱水は、40度のお湯に10分間つかると約500ミリリットルの水分が失われます。入浴時の水分補給は入浴前にする事が大事です。

でも、脱衣場で着替えている時に反応が鈍くなったり、湯あたりや血圧の変化で意識も進んでしまっています。水分はコップ一杯以上のお茶や白湯を常温か温めて飲みましょう。

脱水を防ぐために、多くの

方は湯上りでは喉が渇き水分補給しておられると思います。

セントー高橋信代)

生活者には思い出、職員にとっては一年の支援を振り返る良い機会となりました。次年度、更に、笑顔あふれる梅の木寮になるために、生活者の皆さんと一緒に楽しい事を作りあげていきたいです。



いにいの村
の、こと
①

『聞こえないこと』
困っていること』

マスクをされていると…

ある日、スーパーのレジで精算を待っていると、店員さんが何か何か言られましたが、マスクをされていてわかりませんでした。「聞こえないのでもマスクを外してください」と頼みましたが、そのまま繰り返し大きな声で言われます。店内はわざわざして聞き取れません。わざ一度、「マスクを取ってください」と叫びながら言られたのと同時に、隣の女性が親切に、「「これよ」と自分のカードを示してくれました。それで納得が



通りすがりの人の親切

また、他府県のバスに乗ったところの「こと」です。座れないとおもふと、他のお客様に手招きで呼び止められ、「あっちへ」と指差して教えていただ

いました。カードだけをしで渡し、その先に置いてある機械で自分でお金を入れるという新しいシステムでした。

秋冬は風邪予防、春は花粉症、どいつもこいつもマスクを着ける人が増えます。耳が聞こえない人は話をするとときは相手の顔、表情、口元すべてを見ます。マスクで顔の大半が隠れると全く話が読み取れません。話す時だけでもマスクを外すか、筆談してもうえ

ります。また、呼んだり話します。まだ、呼んだり話しかけられても「気がつかない」とかいります。その時に居合せた方がわかりやすくて教えてくれると、とてもありがたいと思います。

誰もが暮らしやすい社会に

4月から施行される『障害者差別解消法』では、必要な合理的配慮を公的機関や民間事業者は義務づけられることがあります。文字で見てわかりやすい掲示や通訳の保障などの環境整備がこれから整つてほしいことに期待をしてしまいます。

いのじの本人や、家族の高齢化や介護等の課題は、地域の聴覚をはじめとする障害者、いのじの村のある綾部東部地域の方々にとっても共通の課題です。

いのじの村の役割は、常に「共に」両方の人差し指を左右から合わせる

通りすがりの人の親切

今年度のいのじの村の事業計画は、開所当時の初心に立ち戻り、「利用者・地域の課題を共に考え、豊かな暮らしの実現をめざす」を基本としています。

栗の木寮開所から今年で35年目を迎えます。「働く中でたくましく」を実践目標としてきた栗の木寮では、仲間（利用者）の高齢化が進み、健康上の課題が増え、仲間一人ひとりの年齢や願いに合わせた生活環境や仕事・役割づくりの見直しが求められています。

栗の木寮開所から整つてほしいことに期待をしてしまいます。

いのじの事業所からスタートしたいのじの村は、現在、京都北部で、障害児・者、高齢者を対象に、10か所で27事業を担う事業所へと拡がってきました。しかし、事業所が大きくなり、ともすれば、初心をお忘れにしてしまふのではなく、おもむろにしてしまふのではなく、お声を頂戴することもあります。

利用者や地域の関係者の皆様の話に素直に耳を傾け、その時々の課題を共に考え、共に解消し、次のステップに歩んでいくという姿勢を今一度肝に銘じて、いのじの1年の歩みを進めていきます。



いのじの村
所長 岩本 幸子

いのじの村を作つてよかったです」「いのじの村が地域にあってよかった」と喜んでいらっしゃるよう歩むことです。



いのじの村の役割は、常に



ありがとうございました

◆後援会 ご入会・ご継続 (順不同)

酒井 勝美 様	綾部市老富町	継続
高橋 好枝 様	綾部市忠町	継続
久後 寛次 様	綾部市東山町	継続
深井 ヨシ子 様	綾部市五津合町	継続
吉岡 玲子 様	舞鶴市	継続

◆「後援会」はいこいの村で現金受付させていただいた方のみの掲載です。現金振り込み・自動引落の方は京都読書ニュースに掲載させていただいております。

【掲載誤りのお詫び】

- いこいの村しんぶん 402号の差込ページ「後援会ご入会・ご継続」の『馬田早苗 様 繼続』は、正しくは『馬田君江様 入会』でした。
- いこいの村しんぶん 406号2面 金 明鶴(きん めうこう)さんは(きんめいこう)さんの誤りでした。お詫びして訂正いたします。

2016年度 職員の動き

【採用】

★施設第一福祉部

谷本 美帆 小林 陽平

★施設第二福祉部

篠田 翔子 片西 恵子

★高齢福祉部

大丹生 幸子 田中 幾浩

★総務部給食課

中村 友美 川端 つぐみ

【退職】

★地域福祉部

彼末 沙記

★施設第一福祉部

岡田 知浩



《5月 在宅サービスの予定》

【デイサービスの予定】

散髪の日 7日、14日、21日、28日

リハビリの先生の来所日 12日、26日

【配食サービス】

月～土曜日(山家・口上林地区対象)

【耳の相談日】

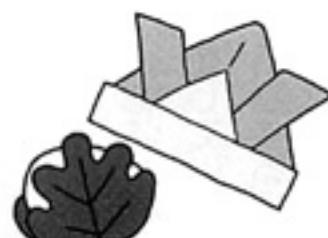
5月19日(木)

会場:いこいの村とくら福祉センター

時間:午後1時～午後3時 要予約

TEL:0773-46-0155

FAX:0773-46-0175



◆ご寄付 (1000円以上 順不同)

山中 知加次 様	京都市	500,000円
野間 隆 様	綾部市下替地町	100,000円
荻野 康行 様	京丹後市	100,000円
増田 正孝 様	京丹後市	10,000円
八木 稔浩 様	綾部市忠町	20,000円
温井 ヒロシ 様	綾部市睦寄町	10,000円
福井 嘉苗 様	綾部市神宮寺町	10,000円

今回の掲載は3月1日～3月31日受付分です

【異動】《 》は旧所属

★総務部

課長 坂田 高志 《総務部 総務課》

三觜 典代 《高齢福祉部 包括支援課》

★施設第一福祉部

藤田 二美子 《施設第二福祉部 医務課》

★施設第二福祉部 生活第1課

課長 渡部 泰之 《施設第二福祉部 生活第1課》

弓削 良之 《施設第二福祉部 生活第2課》

★施設第二福祉部 生活第2課

課長 四方 芙実 《施設第二福祉部 生活第1課 課長》

笹田 大輔 《地域福祉部 地域生活支援課 与謝》

森川 僚 《地域福祉部 地域生活支援課 京丹後》

小寺 豊 《高齢福祉部 グループホーム課》

★施設第二福祉部 相談支援課

永井 千鶴 《施設第二福祉部 生活第2課》

★地域福祉部 地域生活支援課 京丹後

係長 金子 泰治 《施設第二福祉部 生活第2課 課長》

★地域福祉部 地域生活支援課 宮津・与謝

係長 高見 典子 《施設第一福祉部 生活支援課》

★地域福祉部 地域生活支援課 舞鶴

係長 真鍋 敏弘 《地域福祉部 地域生活支援課 舞鶴》

★地域福祉部 地域生活支援課 舞鶴

村上 菜穂子 《地域福祉部 地域生活支援課 福知山》

★地域福祉部 地域生活支援課 福知山

竹市 麻奈美 《施設第二福祉部 生活第1課》

若者のつどい交流会

日 時 : 平成28年5月13日(金)

19:00～21:00(開場18:30)

場 所 : 舞鶴 西駅交流センター

参加費 : 300円

対 象 : 40歳以下で京都府北部地域にお住まいの

(ア)ろうあ者・難聴者

(イ)手話・要約筆記に興味のある方

(ウ)聴こえない方と交流したい方

聾・難聴の若者集まれ!

【内容】自己紹介 ゲームを通して交流しましょう

グループワーク 今後の若プロ企画と一緒に考えましょう

